

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

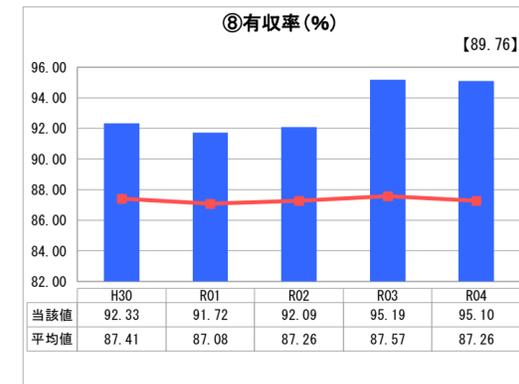
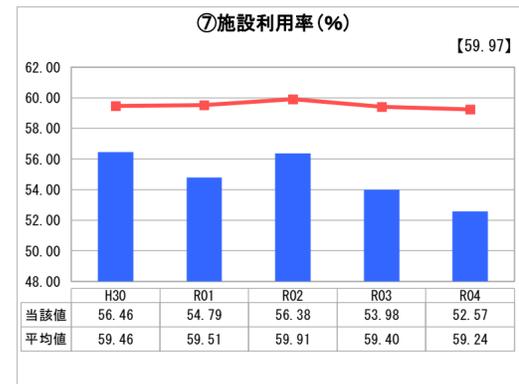
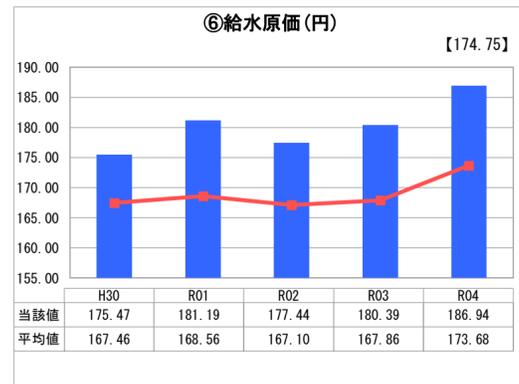
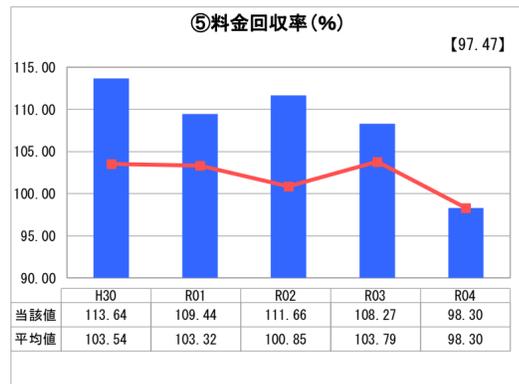
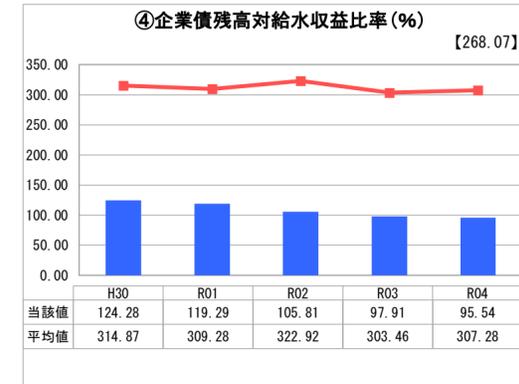
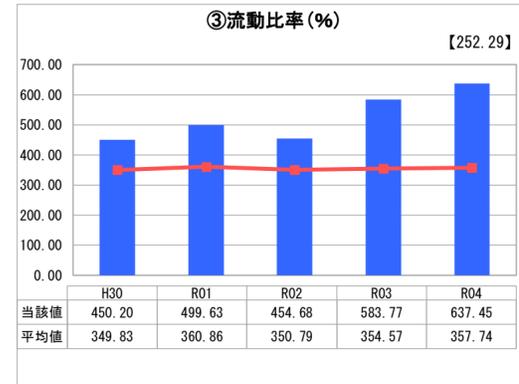
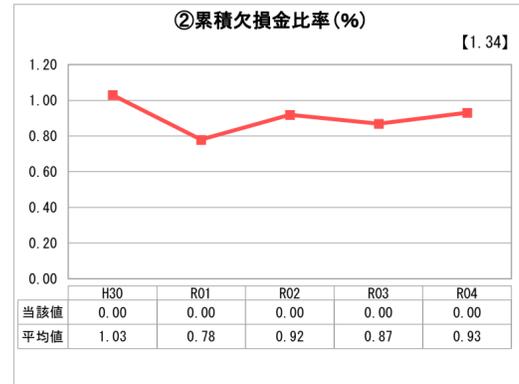
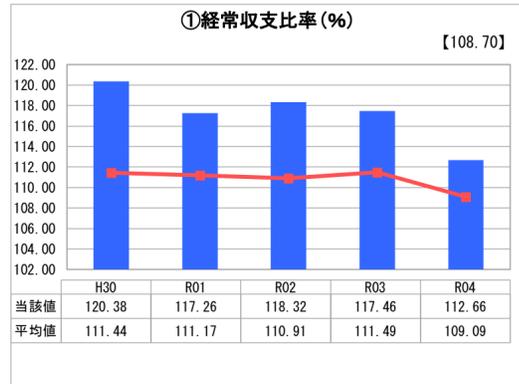
福井県 越前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	85.80	97.77	3,124	

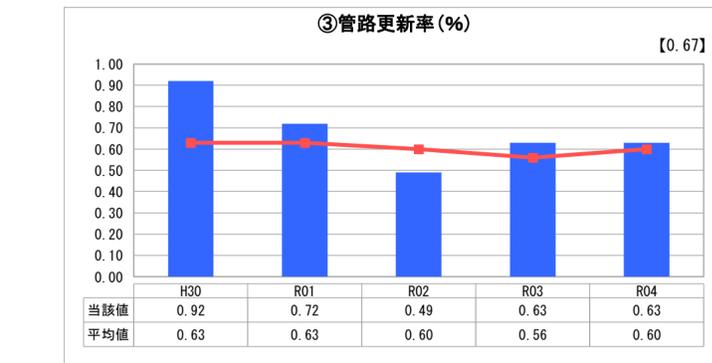
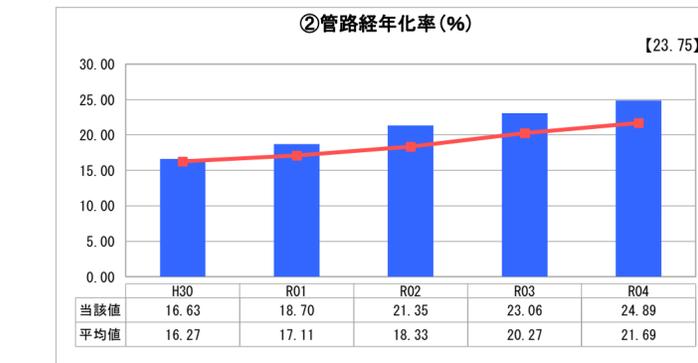
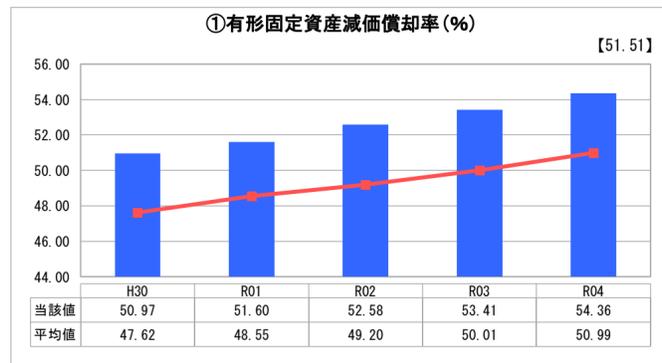
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
80,726	230.70	349.92
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
78,545	94.40	832.04

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を上回る水準を維持しており、健全な経営を行っている。
- ② 累積欠損金比率は、0%を維持しており、健全な経営を行っている。
- ③ 流動比率は、類似団体平均値を大きく上回る水準を維持しており、高い支払能力を有している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均を大きく下回る水準を維持しており、健全な経営を行っている。給水収益に減少は見られたが、企業債借入を抑制したことから着実に減少している。
- ⑤ 料金回収率は、基本料金減免や人口減による給水収益の減少により前年度を下回っており、より一層経費削減を図る等、適切な経営に努める必要がある。
- ⑥ 給水原価は、県水受水費の影響の他に、給水人口の減少による有収水量(使用水量)の減少を要因として、昨年度を上回っている。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値に比べ低い水準となっており、今後も人口減少による使用水量の減少が予想される。安定的に水を供給できる体制を維持していくために、自己水源の保全と活用を検討していく。
- ⑧ 有収率は、令和3年度から水道施設運営管理包括委託に漏水調査を追加し、複数年契約となったことにより、配水池系ごとに綿密で計画的な漏水調査ができ、高水準を維持できている。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回る水準で増加しており、将来を見据えた施設の更新を行い長寿命化を図っていく。
- ② 管路経年化率は、類似団体平均値を上回り、法定耐用年数を超過した管路が増えてきていることから、事業費の平準化を図りながら、計画的かつ効率的に管路の更新に取り組んでいく。
- ③ 管路更新率は、類似団体平均値を上回っているが、年度間のばらつきがあることから、計画的かつ効率的に老朽管の更新に取り組んでいく。

## 全体総括

本市の水道事業は、令和3年度の料金改定や令和4年度実施の水道基本料金減免等により給水収益に減少は見られたものの、コスト削減や経営の効率化により累積赤字を発生させず、安定的な事業を運営維持している。

今後は、人口減少や節水器具の普及により給水収益の減少が見込まれる。水道料金の収納率向上や未納整理の強化による一層の財源確保に取り組むとともに、中長期的な視点で、効率的・効果的な老朽管の更新に取り組み計画的な更新事業を実施し、財政運営に努め、健全経営の維持に努めていく。